

令和 7年 8月 1日

山梨県産業政策部産業政策課

課長 古屋 幸一

電話 055-223-1532 (内線 4550)

報道関係者各位

サプライチェーン全体で取り組む「事業継続力強化計画」モデル事業を開始 ～早野組協力会社（早野組欽明会）でジギョケイ導入モデル事業スタート～

山梨県では、自然災害やサイバー攻撃など、企業を取り巻く多様なリスクに備えるため、中小企業の「事業継続力強化計画（以下、ジギョケイ）」の策定を支援しています。

この取り組みの一環として、県では「事業継続力強化計画サプライチェーン導入モデル事業」を立ち上げ、サプライチェーン全体でジギョケイを策定するモデル事業者の募集を行いました。

その結果、応募のあった株式会社早野組をモデル事業者として選定し、同社および協力会社を対象に、東京海上日動火災保険株式会社山梨支店ご協力の下、ジギョケイの理解促進と実践的な策定支援を行うセミナーを開催します。

本事業は、県内初のサプライチェーン単位でのジギョケイ策定支援モデルであり、地域全体の事業継続力を高める新たな一歩として、今後の展開につなげていきたいと考えています。

「事業継続力強化計画」とは：

中小企業が防災・減災のために策定する簡易版 BCP（事業継続計画）であり、経済産業大臣の認定を受けることで、税制優遇や金融支援、補助金の加点などの支援策を受けることが可能です。

■セミナー概要

1. 日時：2025 年 8 月 6 日（水）13:30～16:15
2. 会場：アピオ甲府（中巨摩郡昭和町西条 3600）
3. 内容：事業継続力強化計画とリスクファイナンスの解説
事業継続力強化計画策定の実践
4. 対象者：株式会社早野組及びそのサプライチェーン企業、早野組欽明会

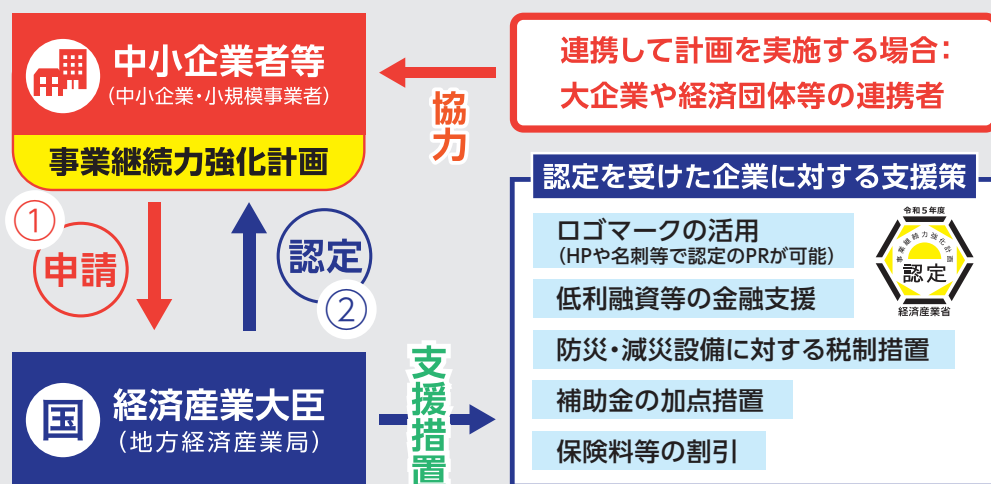
中小企業のための、 事業継続力強化計画とは？

(ジギョケイ)

中小企業が自社の災害リスクなどを認識し、防災・減災対策の第一歩として取り組むために必要な項目を盛り込んだもので、将来的に行う災害対策などを記載するものです。

ジギョケイを策定し、国に申請して認定を受けると、防災・減災設備に対する税制措置、低利融資、補助金の加点措置など、さまざまなメリットを受けることができます。

【事業継続力強化計画認定のスキーム】



【策定の流れ】

5つの検討ステップで、簡単に計画を作成

- Step1 事業継続力強化の目的の検討**
自然災害等が起こった際、サプライチェーンや地域経済社会に与える影響、従業員に対する責務等、自らの事業継続力強化が自然災害等による経済社会的な影響の軽減に資する観点から、目的を検討して記載します。
- Step2 災害などのリスクの確認・認識**
ハザードマップ等を活用し、事務所・工場などが立地している地域の災害等のリスクを確認。被災想定を基に、「ヒト」「モノ」「カネ」「情報」の4つの切り口から、自社にどのような影響が生じるかを考えます。
- Step3 初動対応の検討**
災害等が発生した直後の初動対応を検討します。その際、①人命の安全確保、②非常時の緊急時体制の構築、③被災状況の把握・被害情報の共有等の取り組みが求められます。
- Step4 ヒト、モノ、カネ、情報への対応**
Step2で検討したヒト、モノ、カネ、情報への影響を踏まえ、災害等に備えて事前にどのような対策を実行することが適当か検討します。
- Step5 平時の推進体制**
ジギョケイは策定するだけでなく、平時の取り組み（訓練）が大切です。平時から繰り返し取り組むことで、緊急時においても落ち着いて、適切に対応することができるようになります。

